

第6回中部 MIST 研究会 プログラム



会 期:2016(平成 28)年 9 月 4 日(日)10:00~13:00
(受付:9:30~開始)

会 場:本多の森会議室 2F 第 2 会議室
〒920-0935 石川県金沢市石引 4-17-1

参加費:医師/2,000 円、コメディカル/1,000 円

主 催:中部 MIST 研究会

日整会単位取得予定の先生は、日整会会員 IC カードをお持ちください

参加者のみなさまへ

- 受付にてお名前、ご所属先を芳名帳にご記入のうえ、参加費（医師/2,000 円、コメディカル/1,000 円）をお支払いください。
- 日整会単位受講証明書をご希望の方は、1,000 円をお支払いください。
- 日本 MIST 研究会の入会も受け付けております。入会ご希望の方は、所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。後日事務局より登録完了のメールを送信いたします。
申込書ご提出から 1 週間経過しても登録完了メールが届かない場合には、事務局
(TEL : 052-751-8197 E-mail : mist_central@hachiya.or.jp) までご連絡ください。

発表規定

- 今回の発表は PC によるプレゼンテーションのみといたします。その他スライド、ビデオ等は使用できません。スクリーンは 1 面です。
- 発表用 PC は Office2010 をご用意いたします。
- メディアにて発表データをご準備いただく場合、メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、ウイルス駆除ソフトにてチェックしたものをご準備くださいますようお願いいたします。
- 発表データに動画・音声ファイルがある場合、また Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC をご使用ください。 Macintosh 等、プロジェクトとの接続にディスプレイアダプタを必要とする PC をご使用の場合は、必ずディスプレイアダプタをお持ちください。
- セミナーの円滑な進行の為、ご発表は時間厳守にてお願いいたします。
- 1 名に優秀演題賞を授与いたします。

プログラム

10:00

開会のご挨拶

出村 諭

10:05～10:50

一般演題 A

座長

吉岡 克人

- A-1. H字型仙骨骨折を伴う不安定型骨盤骨折に対して PPS 併用の腰椎腸骨後方固定を施行した 1 例
市立砺波総合病院整形外科 高木 泰孝(たかぎ やすたか)他
- A-2. 強直性脊椎疾患症例と非強直性脊椎疾患症例では PPS の刺入精度に違いはあるのか？
—同一術者によるフルオロスコープガイド下刺入での検討—
富山県立中央病院 整形外科 笹川 武史(ささがわ たけし)
- A-3. 胸腰椎骨折に対する経皮的後方固定術の治療経験
福井県立病院 整形外科 上田 康博(うえだ やすひろ)他
- A-4. Dynamic CT における骨癒合判定の有用性
はちや整形外科病院 検査部放射線科 上野 栄朗(うえの よしろう)他
- A-5. 脊椎外科領域におけるデュアルエナジーCT の有用性
名古屋市立大学 整形外科 大塚 聖視(おおつか せいじ)他

10:50～10:55

休憩

10:55～11:40

一般演題 B

座長

明田 浩司

- B-1. 胸椎黄色靭帯骨化症に対する MISt 手技を併用した内視鏡下除圧術
金沢大学 整形外科 吉岡 克人(よしおか かつひと)他
- B-2. XLIF 術後短期における ADL の調査
はちや整形外科病院 リハビリテーション部 山崎 優司(やまざき ゆうじ)他
- B-3. OLIF 施行時に進入反対側へケージが落下した 1 例
名古屋第二赤十字病院 整形外科 鵜飼 淳一(うかい じゅんいち)他

B-4. XLIF 後 2 年を経過して腹壁癒痕ヘルニアを発症した 1 例

名古屋市立大学 整形外科 近藤 章(こんどう あきら)他

B-5. XLIF,OLIF における問題症例の検討

岐阜市民病院 整形外科・脊椎センター 宮本 敬(みやもと けい)他

第 7 回中部 MIST 研究会開催案内

明田 浩司

11:40~11:50 休憩

11:50~12:50 特別講演

座長 出村 諭

L-1. MIS-LIF 「合併症回避のために今できること」

京都大学大学院医学研究科・運動器機能再建学講座 藤林 俊介(ふじばやし しゅんすけ)

※日整会教育研修単位 資格継続単位 07 脊椎脊髄疾患/SS

12:50 優秀演題賞発表

出村 諭

12:55 総括・閉会のご挨拶

佐藤 公治

※ 閉会のご挨拶の後、参加者写真撮影を行います

抄 録 集

Abstracts

特別講演

座長：金沢大学医学部 整形外科 出村 諭先生

MIS-LIF 「合併症回避のために今できること」

講師：京都大学大学院医学研究科・運動器機能再建学講座

特任教授 藤林 俊介(ふじばやし しゅんすけ) 先生

一般演題 A

A-1

H字型仙骨骨折を伴う不安定型骨盤骨折に対して PPS 併用の腰椎腸骨後方固定を施行した 1 例

高木 泰孝 (たかぎ やすたか) 1)、山田 泰士 1)、江原 栄文 1)、林 寛之 1)、岩永 健志 1)、下崎 研吾 1)
1) 市立砺波総合病院整形外科

症例：43 歳、女性、7 か月前に近医で sacroiliac screw 固定を受けた。現病歴：高架橋から飛び降り受傷。腰椎破裂骨折、H 字型仙骨骨折に対して PPS を併用した腰椎腸骨後方固定を施行した。多発外傷に対して低侵襲にて固定することが可能であった。

A-2

強直性脊椎疾患症例と非強直性脊椎疾患症例では PPS の刺入精度に違いはあるのか？

－同一術者によるフルオロスコープガイド下刺入での検討－

笹川 武史 (ささがわ たけし) 1)
1) 富山県立中央病院整形外科

強直性脊椎疾患 (ASD) を合併した症例に対する PPS を用いた MISt は低侵襲に広範囲固定できる点で有用である。今回 ASD 症例に対する PPS の刺入精度について非 ASD 症例と比較し、違いがあるかを検討した。

A-3

胸腰椎骨折に対する経皮的後方固定術の治療経験

上田 康博 (うえだ やすひろ) 1)、三崎 智範 1)、林 雅之 1)、松本 直幸 1)、中西 宏之 1)、瀬良 愛 1)、濱田 知 1)
1) 福井県立病院整形外科

胸腰椎骨折 18 例に対し経皮的後方固定術を行った。PPS122 本中、逸脱は 6 本 (5%) であった。神経症状の改善しなかった 1 例は二期的に前方除圧固定術を要した。強直性脊椎障害に合併した骨折は透視困難例があり PPS 挿入に注意を要する。

A-4

Dynamic CT における骨癒合判定の有用性

上野 栄朗 (うえの よしろう) 1)、阿部 貢樹 1)、井澤 浩之 1)、蜂谷 裕道 2)

1) はちや整形外科病院 検査部放射線科、2) はちや整形外科病院

低侵襲脊椎固定術 (XLIF) を施行した患者を対象とし、術後 12W と 36W における腰椎側面機能 X-P 撮影と DynamicCT の骨癒合判定を、各モダリティにおける RadiolucentLine の判定と可動角を測定し検討した。X-P では RadiolucentLine の見落とし、可動角測定不能を多く認めたが、CT では Dynamic にすることで骨癒合が進んでいる 36W での僅かな RadiolucentLine が確認でき有用性が示唆された。

A-5

脊椎外科領域におけるデュアルエネルギーCTの有用性

大塚 聖視 (おおつか せいじ) 1)、福岡 宗良 1)、水谷 潤 2)、鈴木 伸幸 1)、近藤 章 1)

1) 名古屋市立大学 整形外科 2) 名古屋市立大学リハビリテーション科

当科では 2014 年 5 月より Dual energy CT を脊椎 instrumentation 手術後の CT に使用している。金属デバイスに起因するアーチファクトが少なく、金属周囲の骨構造などの観察に優れていることが特徴でその有用性について報告する。

一般演題 B

B-1

胸椎黄色靭帯骨化症に対する MIS_t 手技を併用した内視鏡下除圧術

吉岡 克人 (よしおか かつひと) 1)、村上 英樹 1)、出村 諭 1)、加藤 仁志 1)、土屋 弘行 1)

1) 金沢大学医学部 整形外科

胸椎黄色靭帯骨化症 3 例に対して内視鏡下に片側進入両側除圧術及び経皮的椎弓根スクリュー固定を行った。骨化型によらず椎間関節を温存した除圧を安全に施行でき、また MIS_t 手技での固定のみで椎間関節の骨癒合がえられた。

B-2

XLIF 術後短期における ADL の調査

山崎 優司 (やまざき ゆうじ) 1)、佐藤 吉紀 1)、中村 愛 1)、杉浦 克哉 1)

1) はちや整形外科病院 リハビリテーション部

【方法】当院で XLIF を行った患者 21 名について JOABPEQ を用いて術前、術後 1、3、6 か月の ADL の改善率を調べた。【結果】1. 3. 6 か月において疼痛、歩行は高い改善率を示したが、腰椎は改善率が低かった。

B-3

OLIF 施行時に進入反対側へケージが落下した 1 例

鶴飼 淳一 (うかい じゅんいち) 1)、佐藤 公治 1)、安藤 智洋 1)、鈴木 喜貴 1)、岩野 莊栄 1)

1) 名古屋第二赤十字病院 整形外科

OLIF は脊椎固定や矯正において低侵襲で有用な方法の一つであるが、合併症も多数報告されている。今回我々は、OLIF 施行時に進入反対側へケージが落下した 1 例を経験したために考察実験を施行し、再現を得られたので報告する。

B-4

XLIF 後 2 年を経過して腹壁癒痕ヘルニアを発症した 1 例

近藤 章 (こんどう あきら) 1)、大塚 聖視 1)、福岡 宗良 1)、水谷 潤 1)、鈴木 伸幸 1)、大塚 隆信 1)
1) 名古屋市立大学 整形外科

症例は 68 歳女性。腰部脊柱管狭窄症に対して L3/4, 4/5 椎間に XLIF、L5/S 椎間に PLIF を施行。術後経過良好であったが術後 2 年を経過して左側腹部に膨隆を認めた。精査にて術創部からの腹壁癒痕ヘルニアと診断された。

B-5

XLIF, OLIF における問題症例の検討

宮本 敬 (みやもと けい) 1)、近藤 祐一 1)、清水 克時 1)
1) 岐阜市民病院整形外科・脊椎センター

当院における XLIF, OLIF における問題症例の検討を行ったので報告する。

MEMO

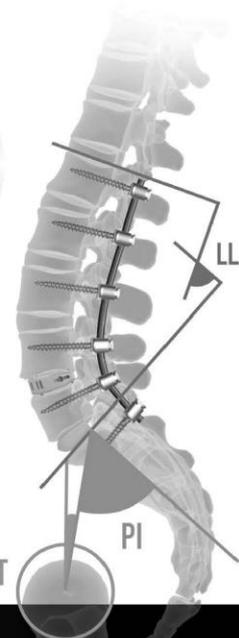
ご協賛いただいた企業様

- 小野薬品工業株式会社
- オリンパス テルモ バイオマテリアル株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピュージンセス スパイン事業部
- ジンマーバイオメット合同会社
- センチュリーメディカル株式会社
- 大正富山医薬品株式会社
- 日本イーライリリー株式会社
- 株式会社 日本エム・ディ・エム
- 日本ストライカー株式会社
- 日本臓器製薬株式会社
- ニューベイシブジャパン株式会社
- HOYA Technosurgical 株式会社
- ヤンセンファーマ株式会社
- 株式会社ロバート・リード商会

(五十音順)

ご協力いただき誠にありがとうございました

ALIGNMENT MATTERS.™



Integrated Global Alignment (iGA™) is a platform comprised of procedurally based technologies, designed to enhance clinical and economic outcomes by increasing the predictability of achieving global alignment in all spinal procedures. Integration across the surgical workflow allows the surgeon to confidently and reproducibly:

- **Calculate** alignment parameters with preoperative planning tools.
- **Correct** the anterior and posterior column with comprehensive procedural solutions from NuVasive® with the industry's only real-time intraoperative assessment.
- **Confirm** the restoration and preservation of global alignment postoperatively.

RELINE

NUVAMAP®
O.R.

XLIF ACR

BENDINI

NUVASIVE
Speed of Innovation®

©2016 NuVasive, Inc. All rights reserved. NuVasive, Speed of Innovation, ACR, Bendini, CoRoent, NVMS, Reline, and XLIF are registered trademarks of NuVasive, Inc. Alignment Matters, iGA, and NuvaMap are trademarks of NuVasive Inc.

製造販売業者 ニューベインジャパン株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-13 日土地銀座ビル
TEL 03-3549-6500 FAX 03-3549-6501

販売名: CoRoent Large PEEK ケージシステム
販売名: CoRoent XL PEEK ケージシステム
販売名: NVMS 神経モニタースystem
販売名: RELINE スパイナルシステム

承認番号: 22600BZX00129000
承認番号: 22500BZX00197000
承認番号: 223ADBZX00079000
承認番号: 22800BZX00087000

16-NUVA-0914



CALIBER

CFR-PEEK CAGE



✓ 日本人向けにスモールサイズを充実させた
サイズバリエーション

✓ 皮質骨と近似した弾性係数

(素材である PEEK-OPTIMA は、皮質骨に近似した弾性係数を有しているため、チタン製ケージ等に比べ椎体終板界面での沈み込みが起りにくくなります。)

第1種医療機器製造販売業者

R ROBERT REID INC.

株式会社ロバート・リード商会
〒112-0002
東京都文京区小石川4-22-2 小石川4丁目ビル
TEL : 03-3830-7373 FAX : 03-3830-7376

販売名 CFR PEEK ケージ
承認番号 22100BZX00916000

Lilly



フォルテオ®

皮下注キット600μg

テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤

骨粗鬆症治療剤

処方箋医薬品 薬価基準収載
(注意-医師等の処方箋により使用すること)

「効能・効果」、「用法・用量」、
「禁忌を含む使用上の注意」等に
ついては添付文書をご参照ください。

<資料請求先>

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

FRT-A042(R2)
2015年2月作成

慢性化しやすい痛み

変形性関節症



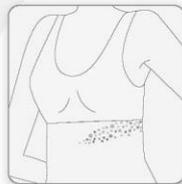
腰痛症



頸肩腕症候群



帯状疱疹後神経痛



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤(非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害)

ナイトロピン®錠4単位

ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液含有製剤 <薬価基準収載>

【禁忌】(次の患者には投与しないこと) : 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

帯状疱疹後神経痛、腰痛症、頸肩腕症候群、
肩関節周囲炎、変形性関節症

【用法・用量】

通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

帯状疱疹後神経痛に対しては、4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続けないよう注意すること。

【使用上の注意】

1. 副作用

承認時までの調査では、1,706例中89例(5.22%)に、市販後の副作用頻度調査(再審査終了時点)では、18,140例中98例(0.54%)に副作用が認められている。以下の副作用は、上記の調査及び自発報告等で認められたものである。

(1) 重大な副作用

1) 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) : AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

2) 本薬の注射剤において、ショック、アナフィラキシーがあらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

その他の使用上の注意などにつきましては、添付文書をご参照下さい。

製造販売元

日本臓器製薬

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号
資料請求先 : 学術部

<すりの相談窓口> ☎06-6233-8085
土・日・祝日を除く 9:00~17:00

2013年7月作成



慢性疼痛/抜歯後疼痛治療剤

劇薬 処方箋医薬品*



トラムセツト[®]配合錠

Tramcet[®] Combination Tablets

トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠

薬価基準収載

*注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

www.janssen.com/japan

www.janssenpro.jp（医薬品情報）



経皮吸収型鎮痛消炎剤

劇薬 | 薬価基準収載



ロコア[®]テープ

LOQOA[®] tape

(エスフルルピプロフェン・ハッカ油製剤)

新発売

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。



発売 [資料請求先]

大正富山医薬品株式会社

〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

お問い合わせ先: ☎ 0120-591-818

メディカルインフォメーションセンター

販売

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

資料請求先: メディカル情報部 ☎ 0120-189-315



製造販売

大正製薬株式会社

〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1

LOQA42 2016.1

LOA013-HM-1601-2
2016年1月作成

第6回中部MIS^t研究会 プログラム・抄録集

2016年8月25日発行

発行: 中部MIS^t研究会事務局

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院内

TEL:052-751-8197 FAX:052-751-8169